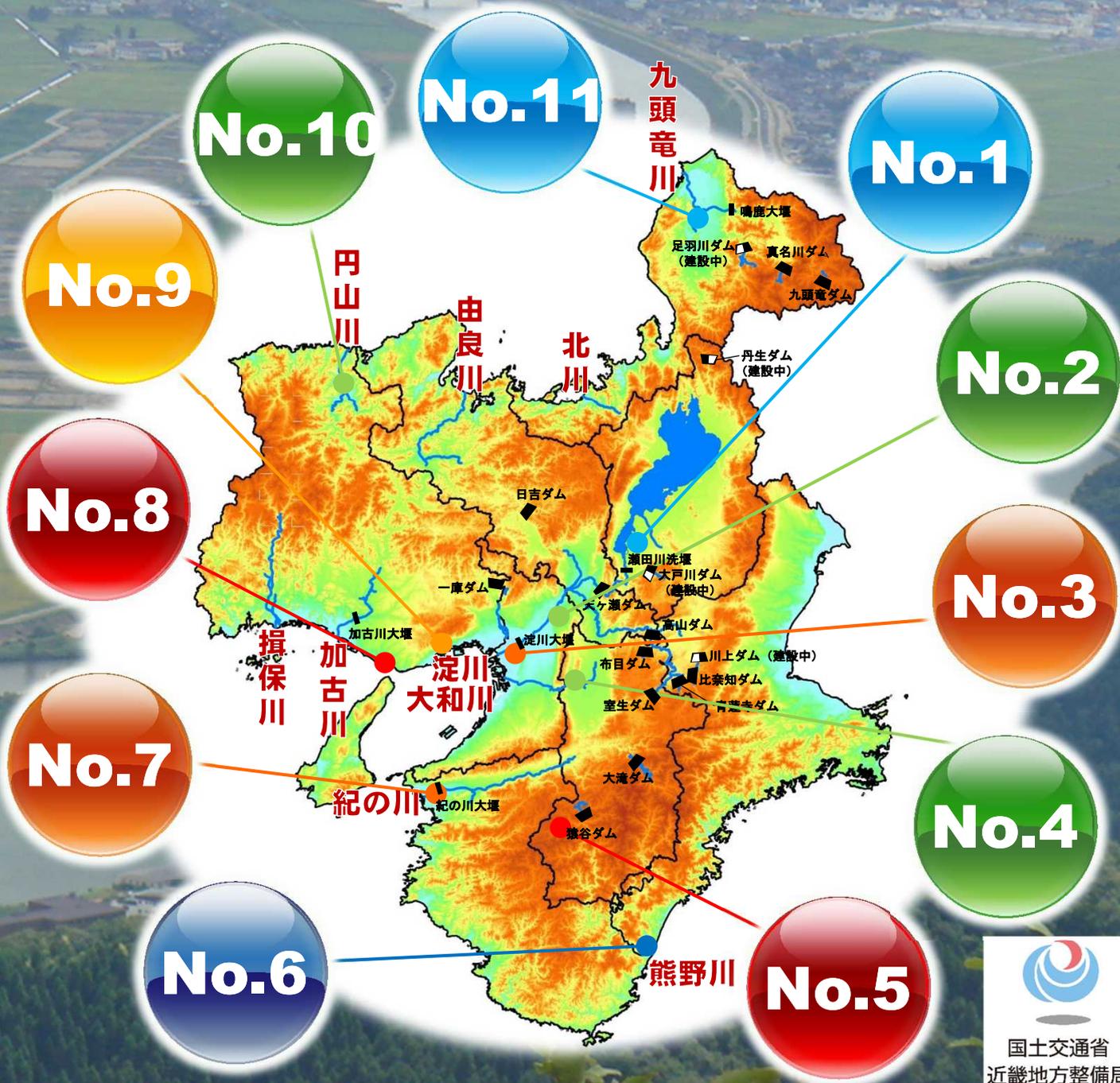


くらしと経済を 支える河川の整備

堤防やダムといった河川施設の整備は、
水害の防止など私たちのくらしの安全性を高め、
地域経済活動の基盤を支えています。



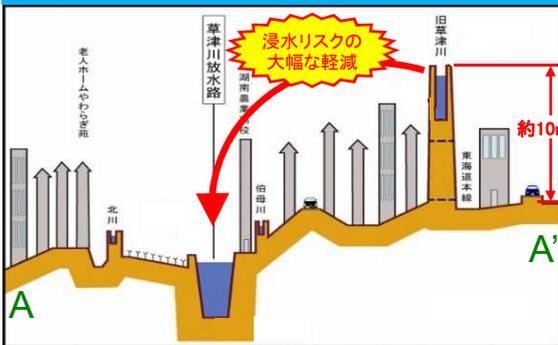
天井川の解消により 地域の発展に寄与



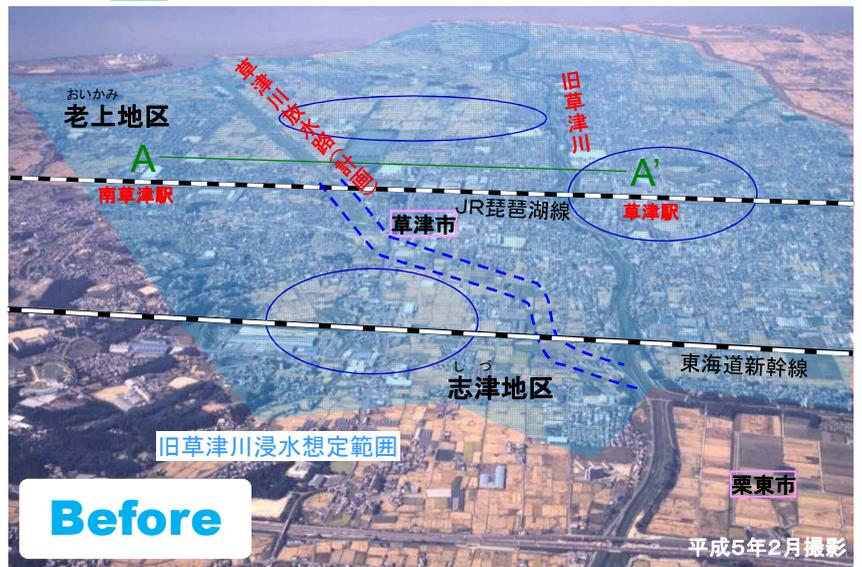
After



断面イメージ図

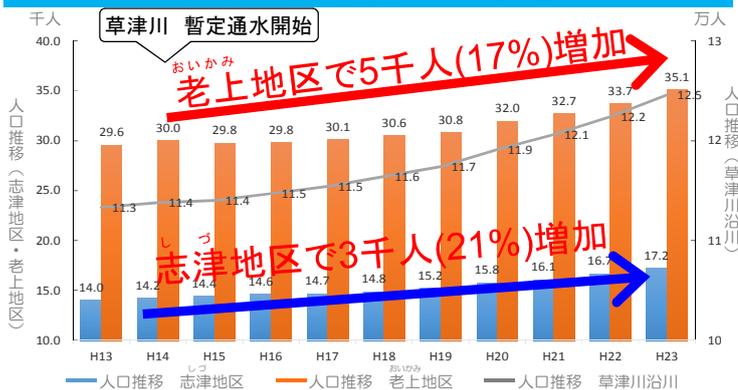


○旧草津川は、市街地から堤防まで10mあり過去に度重なる洪水被害をもたらしていた。



Before

草津川周辺地区の人口推移



出典: 草津市HP

整備効果

- 放水路の整備により、はん濫リスクが大幅に解消され、新駅開業やその周辺での市街化が進み、地域が急速に発展。
- 旧川の跡地は、公園や交通に利用され、都市に憩いや安らぎを与える貴重な緑資源として寄与。

高規格堤防による 新たなまちの創出

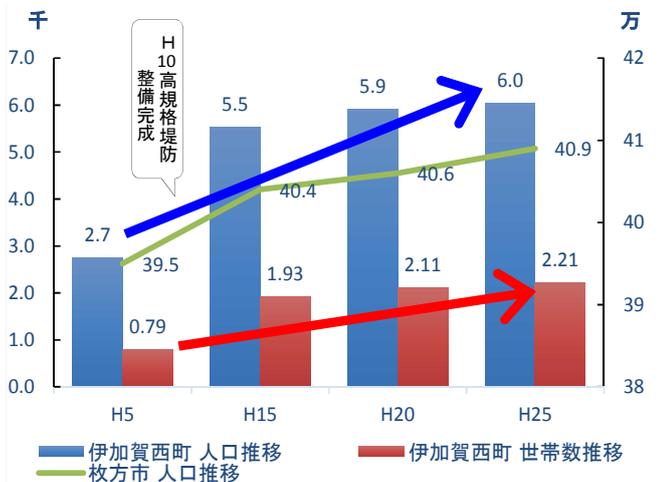
No.2



淀川高規格堤防整備事業(伊加賀西地区)
大阪府枚方市



伊加賀西町の人口・世帯数の推移



整備効果

- 高規格堤防整備と民間住宅開発事業及び土地地区画整理事業とを一体整備。
- 戸建住宅や高層住宅の建設により、**約3,000人が移住し、市内で最多人口数の町**に成長。秋には開発地区で独自に祭が行われている。

【枚方市人口推移】

(H5) 39.5万人 (H25) 40.9万人

【伊加賀西町人口推移】

(H5) 2,700人 **約2.2倍** (H25) 6,000人

【伊加賀西町世帯数推移】

(H5) 790世帯 **約2.8倍** (H25) 2,210世帯



伊加賀西地区に移り住んだ住民の声

自然が多いのが気に入りました。万が一水が溢れても決壊することがないため、安心して暮らせます！！

舟運を中心とした観光、 商業進出等と経済効果

No.3



船着場の整備 大阪府 枚方市、大阪市等

●船着場の整備状況：淀川、大川等

○地震等の災害時に緊急物資や復旧資材等の輸送手段として船着場を整備。平常時は民間事業者の利用により、舟運に活用。



平常時 船着場を出発する観光船

災害時



整備効果

○舟運を中心とした観光、商業進出、ビル、マンションの建設等により**124万人**による**171億円**の経済波及効果※。利用者が10%増加するだけで17億円の効果。

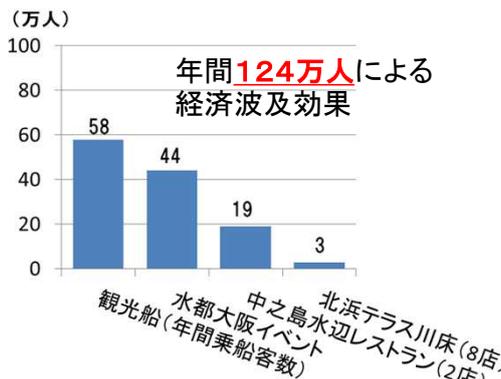
※経済波及効果は、大阪市内の日帰り客観光消費額(10,000円) 波及係数1.38(H22大阪府観光統計調査)

○中之島ではオフィスビル、タワーマンションの建設も相次ぎ、大阪市の水の回廊周辺区(北・中央・福島・西・浪速)では**10%超**の人口増(H17→H22)。

江戸時代の三石船とくらわんか船

観光船、イベント及び商業施設利用者数

各区の人口増減率(H17年～H22年)



本資料の作成にあたり、大阪府府民文化部 都市魅力創造局作成資料を参考にしました。

河川の集中的な整備による 王寺町の発展

No.4



①



②



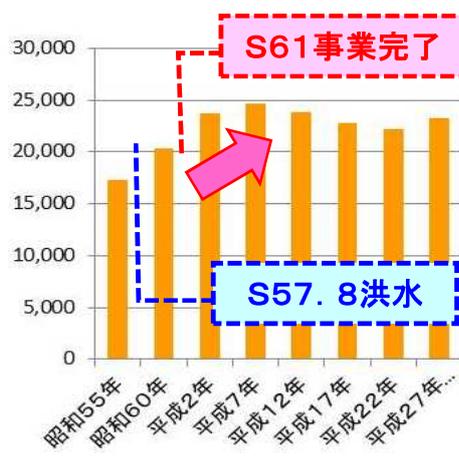
整備効果

- 昭和57年8月洪水（戦後最大）を受けて大和川・葛下川で河川激甚災害対策特別緊急事業を昭和61年までの五力年で実施し、河積が事業前の約1.7倍となっている。その後、昭和57年8月洪水に匹敵する平成7年7月洪水や平成25年9月洪水でも**王寺駅周辺の浸水被害は生じていない。**
- 河川激甚災害対策特別緊急事業により浸水リスクが減少し、王寺駅周辺が発展。
- 安全度の向上した王寺町では平成7年までに人口が4千人増加（昭和60年比）した。



王寺町の観光広報大使「雪丸」（聖徳太子の愛犬）。2014年ゆるキャラグランプリで県内1位（全国11位）。

王寺町の人口の推移



出典：奈良県HP 近畿地方整備局

紀伊半島大水害から3年 ～復興への第一歩～

No.5



発災直後



平成23年9月6日撮影

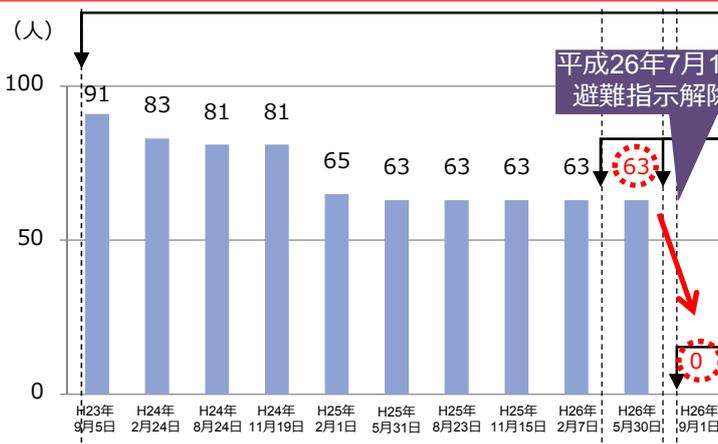


平成26年8月19日撮影

整備効果

- 北股地区において砂防堰堤の整備により、**避難指示が解除**
- 復興住宅5軒の整備と60余名の**住民が地区内に帰還**

野迫川村の避難者数の推移



- ① 平成23年9月の台風12号による大規模な土砂災害が発生し、地区住民全員が避難しました。
- ② 災害直後より緊急対策工事に着手し、平成26年3月に直轄施工の北股砂防堰堤が完成し、また、平成26年6月には奈良県施工の北股砂防堰堤が完成しました。
- ③ 平成26年7月に2年10ヶ月ぶりに避難指示が解除され、60余名の住民が地区に戻りました。

復旧記念式典（平成26年8月）の様子



■野迫川村のコメント

- ・災害直後から、国をはじめとする関係機関には迅速に対応いただきました。
- ・国と奈良県の砂防堰堤の完成で、北股地区の住民も自宅に戻ることができ、ひとまず安心して生活ができます。
- ・ご支援いただいた皆様の力を糧に、止まる事なく「地区復興」に歩いていきたいと誓っています。

紀伊半島大水害を乗り越え、 伝統行事が復活

No.6



熊野川河川激甚災害対策特別緊急事業
水害から2年ぶりに復活した『御船祭』での早船競漕。 和歌山県新宮市

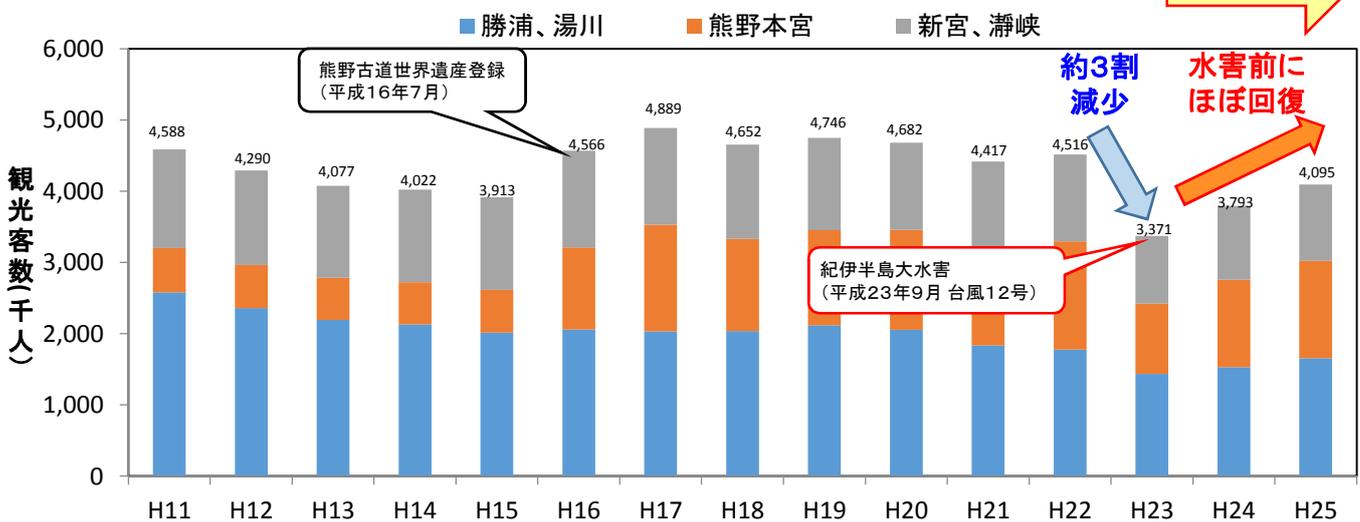
整備効果

- 紀伊半島大水害により、熊野速玉大社の御船祭の一部行事が中止されるなど熊野川周辺の観光客数が約3割減少。
- 緊急的な災害復旧対策や復興対策により、観光客数がほぼ回復。
- 地域経済の維持・発展のためには、着実な治水対策が不可欠。



新宮花火大会

観光客数の推移（緊急的な治水対策・復興対策による効果）



※出典：和歌山県HP



紀の川大堰 事業完成が 地元地域の 活性化に一役！

紀の川大堰建設事業
和歌山県和歌山市



整備効果

- 内水被害が頻発し広大な土地が開発されず、20年以上も未利用のまま。
- ↓
- 紀の川大堰の建設により、内水被害が軽減された直川地区では、**製造業、物流関連業種など10の事業所が進出し、新規雇用を創出。**



海岸整備で海水浴客が急増。 ウミガメも産卵。

No.8



東播海岸保全施設整備事業
兵庫県明石市

整備後



背後の商業施設等



スポーツ用品店

スポーツクラブ

整備効果

- 東播海岸の明石東地区においては、平成10年に海岸保全整備と公園等を一体的に整備。今では年間約20万人が海水浴に訪れている。また背後には**スポーツ用品店**や**スポーツクラブ**が進出。
- 明石市松江海水浴場においては、昭和61年以降、何度もアカウミガメが産卵のため上陸。

アカウミガメの上陸産卵



海水浴客入込数の推移



※出典：兵庫県観光客動態調査報告書（兵庫県）

1,000万ドルの 夜景を守る六甲砂防

No.9

六甲山系砂防事業
兵庫県神戸市



- 昭和14年以降、六甲山系に538基の砂防堰堤を整備し、土砂災害から神戸の街を保全
- 六甲山麓には、国道2号、阪神高速、JR神戸線、山陽新幹線、阪急電鉄、阪神電鉄、山陽電鉄、神戸港など重要な交通網が集中
また、山側への住宅地等の開発が進んでいる
- 今後、砂防堰堤の整備が進めば、土砂災害による被害のさらなる軽減が期待できる

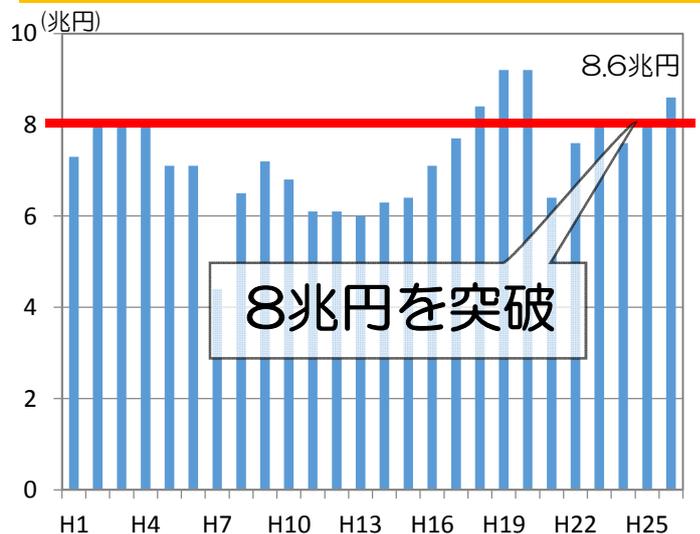
整備効果

- 砂防堰堤により、市街地や鉄道・道路等の**重要な交通網を保全**
- 貿易額8兆円**を超える神戸港を始め、阪神間の**経済発展に寄与**

昭和42年の災害時に
神戸の街を救った五助堰堤（S32年完成）



神戸港の貿易額の推移



出典：神戸税関及び大阪税関の貿易統計資料をもとに近畿地方整備局港湾空港部作成。

再生から共生へ 円山川はコウノトリと共に

No.10



円山川湿地再生事業
兵庫県豊岡市

コウノトリ
育むお米



出典：豊岡市



整備効果

- 円山川の河川改修でコウノトリの住む湿地を再生。
- 周辺の水田ではコウノトリの餌となる生き物を育む無農薬・減農薬農法を採用。
- 年間3億円を売り上げるブランド米「コウノトリ育むお米」や、お酒等の加工品が誕生。

湿地再生の取り組み

- 特別天然記念物コウノトリの日本最後の野生生息地である円山川流域では、地域が一体となってコウノトリ野生復帰に向けた取組を推進。
- 今後、さらに中流部の遊水地整備を行えば、コウノトリをはじめとした多様な生物の生息・生育環境が広がります。

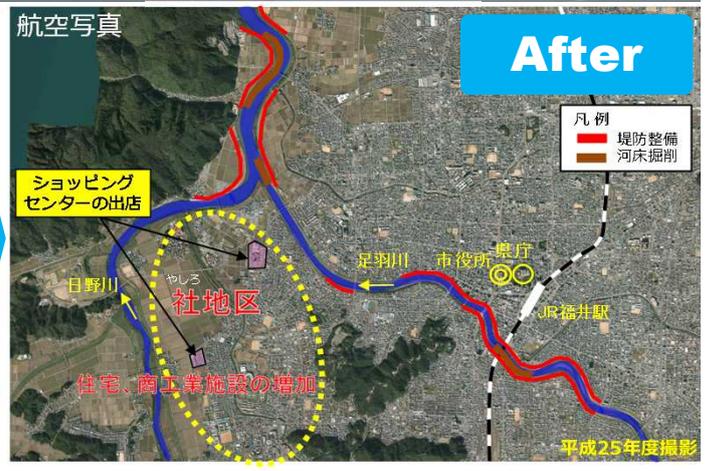
コウノトリ育むお米の売上高の推移



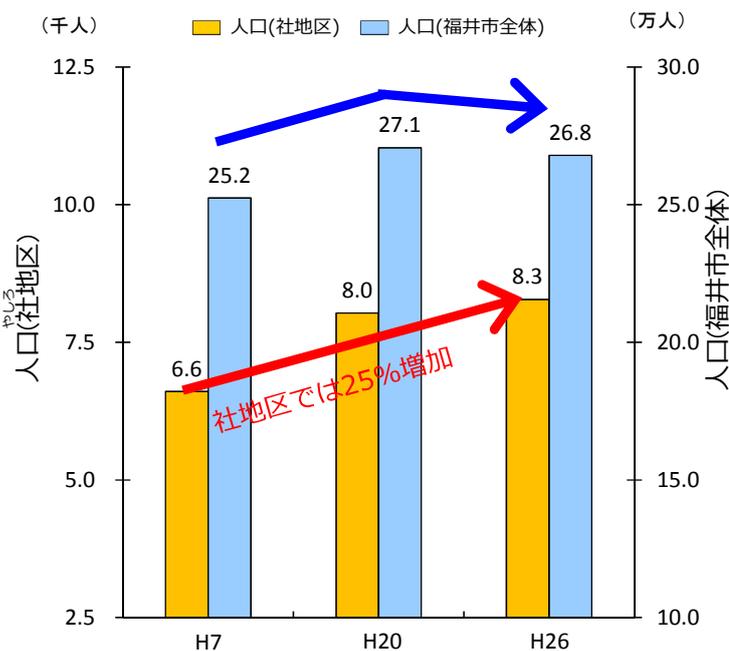
出典：JAたじま資料より作成

地域発展に寄与する 治水対策の三本の矢

No.11



福井市・社地区の人口の推移



福井市全体としては近年減少傾向であるのに対し、社地区では大幅な増加となっている

整備効果

- 福井市中心部などの治水安全度が飛躍的に向上。
- 周辺では、工場・ショッピングセンターの立地や宅地化が進展。
- 社地区では人口が約25%増。

■ 経済団体のコメント

- ・福井市内の工場立地やショッピングセンターの建設、宅地化等は、河川改修の進んだエリアを中心に進んでいる。
- ・なかなか理解されていないかもしれないが、河川改修が都市機能を下支えしていることは間違いがないことだ。
- ・河川改修により、融資先の顧客への安心感が広がっている。
- ・足羽川ダムの整備を推進させるなど、さらなる安全度の向上に努めてほしい。